

『時事直言』 No.769 2012年10月9日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>

時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>

FAX：03-3955-6466



時事評論家 増田俊男

不正でも、不都合でも、何でもご都合通りに出来る Wonderful America!

先週金曜日（10月5日）アメリカのBLS（Bureau of Labor Statistics =労働統計局）は9月の雇用が114,000人増加し失業率が8月の8.1%から7.8%に下がったと発表した。この発表は共和党大統領選ロムニー候補に下らない失業率を非難されていたオバマ大統領にとってこの上もない Good news であった。

発表の数分後、2001年まで20年間GE（ゼネラル・エレクトリック）のCEOを務めたことがある実業家で大富豪の Mr. Jack Welch 氏が、こんな数字はあり得ない、手心が加えられたに違いないとブログで述べたので大騒ぎになった。

CNNのインタビューでBLS長官の Ms. Hilda Solis 氏は何十年間も行ってきたデータ分析方法であり最も信頼出来る。データ抽出係も政党に関わっている者はいないし、アドバイザー委員会に分析結果が届くのも木曜の午後、自分自身（長官）も金曜日の午前中まで知らされていない。疑われるのは心外である、と答えている。調査は全米を824のブロックに分け、約6万の世帯を対象に行われ、選ばれた世帯の調査期間は4カ月で毎月4分の1が新規に入れ替わることになっている

私は米選挙史上例を見ない2000年のブッシュ（共和党）対ゴア（民主党）の大統領選の調査をしたことがある。日本と違ってアメリカの大統領選は各州の選挙人数の合計で決まる。各州の選挙人数は各州の一般票（市民の投票数）の多かった候補者が得ることになる。投票後の一般票の得票数はアル・ゴアが50,999,897票、ジョージ・ブッシュが50,456,002票であり、一般票ではブッシュは負けていたのである。問題のフロリダ州の結果前の両候補獲得選挙人数はゴアが266、ブッシュは246であった。フロリダのパームビーチ郡（エドワード・ケネディーが住んでいて圧倒的に民主党支持層が多い郡）の開票が異常に遅れ期限までに開票が間に合わない事態になり、未開票分が無効になった（最高裁判決）。デントン郡では開票終了の翌日未開票の2箱（ほとんどがブッシュに投票）が「発見」されたため投票数が変わった。さらに調査会社によって提出された非適格有権者リスト分が除かれた。

その結果フロリダ州の総得票数はブッシュがゴアより 537 票多くなりフロリダ州の選挙人 25 を得て選挙人数獲得数が 271 となってブッシュがゴアの 266 を破って当選した。(フロリダ州デントン郡の開票の翌日未開票投票箱 2 箱が発見されたことと、犯罪者リストの 95%が無犯罪者の民主党支持者であった事実については 2000 年 12 月の本誌で解説している)。

未開票投票の無効は最高裁の決定、また犯罪者リストの公開を求めたゴアに対して最高裁はプライバシーを理由に拒否した。

アメリカでは政治・行政プロセスは政府と裁判所が認定すればすべて合法であり正しいと認められる。

前日の 10 月 4 日 (木) 経済統計局は第 2 四半期の GDP は前期の 1.7%から 1.3%に下がり、8 月の耐久消費財は 7 月の+3.3%から 13.2%下がったと発表したばかりであった。陸運、海運業は共に悪化で鉱工業生産も下がり続けている。こうした中で企業は新規雇用を差し控えているのに失業率が一気に 8.1%から 7.8% に下がるのは信じられないと言うのは Mr. Jack Welch 氏だけではない。ブッシュが民主党天国で何故勝てたのかと同じ疑問である。

私は、BLS は何の不正も行っていないと思う。9 月には 6 万人の 4 分の 1 の新しい世帯が調査対象になる。もしこの 15,000 世帯 (約 45,000 人) の多くが白人世帯で、かつ税金を払っていない 47%以外ならどうなるだろうか。勿論リスト抽出は国家予算節減のため世帯調査専門会社が制作して BLS に提出し調査委員会で承認されてから調査員が訪問、面接調査をしているので合法かつ正しいとされている。また BLS が許されている計算上の誤差はプラス・マイナス 0.8%までだから、今回の失業率は 8.1% (8 月) から 9.0%に上がっても、7.3%まで下がってもおかしくない。つまり大騒ぎすること、または、させることに何かの狙いがあるのであって、今回の騒ぎの「裏」(本音) は失業率の問題などではない。むしろ何故リビア駐在大使スチーブン氏が「プロに殺害されたか」の方に関係があるということ!

こうした「書けない話」は私の「インターネット放送」に限る!

完売御礼! 増田俊男の小冊子 Vol.39!

増田俊男の小冊子が完売となりました。ありがとうございました。
これからご購入希望の方々にはコピー版を販売、送付いたします。
お申込み・お問合せは、(株)増田俊男事務所 TEL:03-3955-6686 まで

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前に株式会社増田俊男事務所 (TEL03-3955-6686) までお知らせ下さい。